# 第 3 章　2024 年透析導入患者の動態

## 1. 臨床背景

2024 年の患者調査票において，年齢と性別の記載が確認された導入患者数は 33,888 人であった．男性は 23,763 人，女性は 10,125 人で，導入患者の平均年齢は全体が 71.69 歳，男性が 71.03 歳，女性が 73.26 歳であった（**図 14**，**補足表 14**）．導入患者の平均年齢も慢性透析患者と同様，年々高齢化している（**図 15**，**補足表 15**）．最も割合が高い年齢層は，男性が 75～79 歳で，女性は 80～84 歳であった．

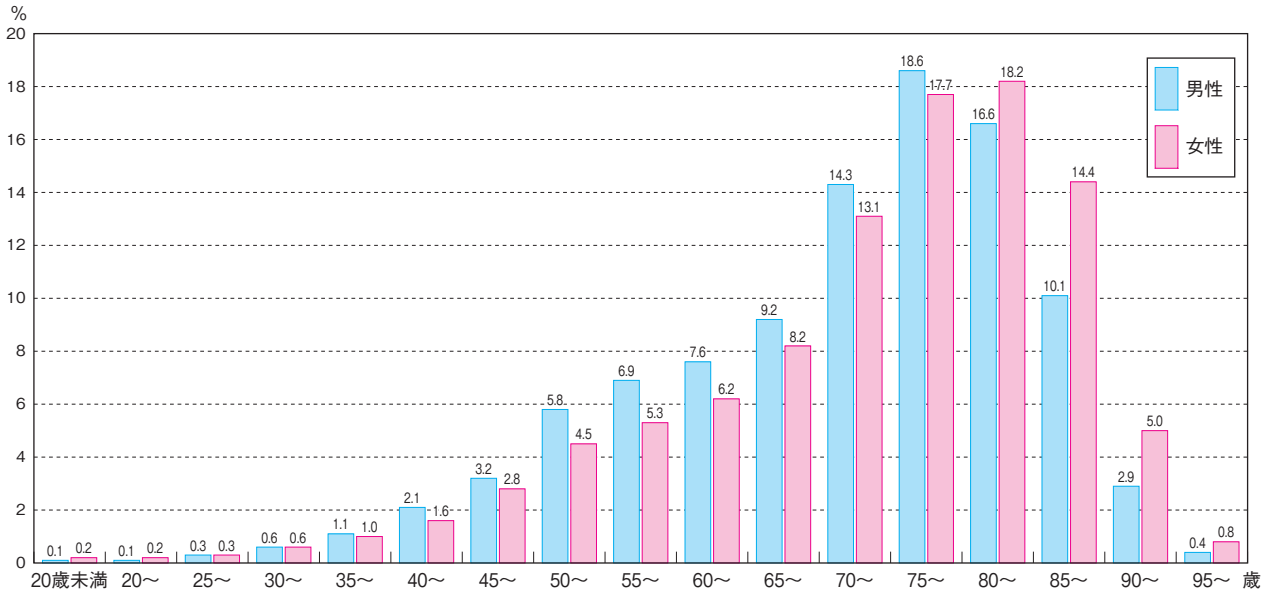


図 14　導入患者　年齢と性別，2024　　（患者調査による集計）

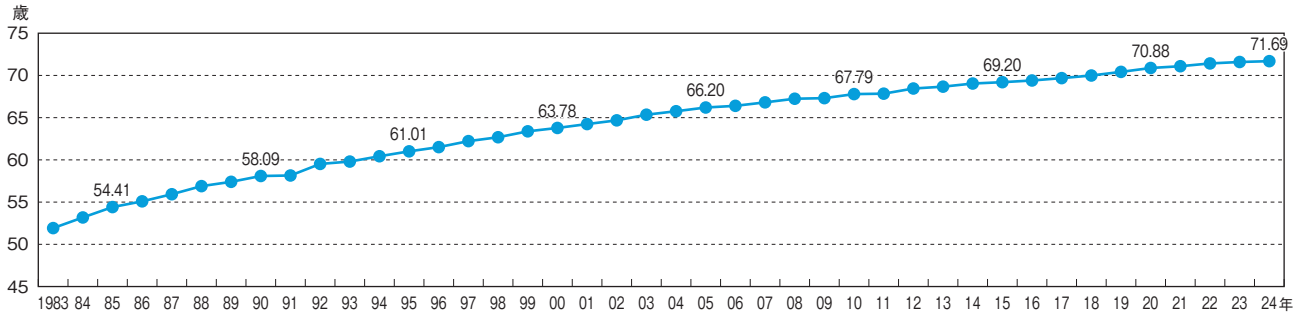


図 15　導入患者　平均年齢の推移，1983-2024　　（患者調査による集計）

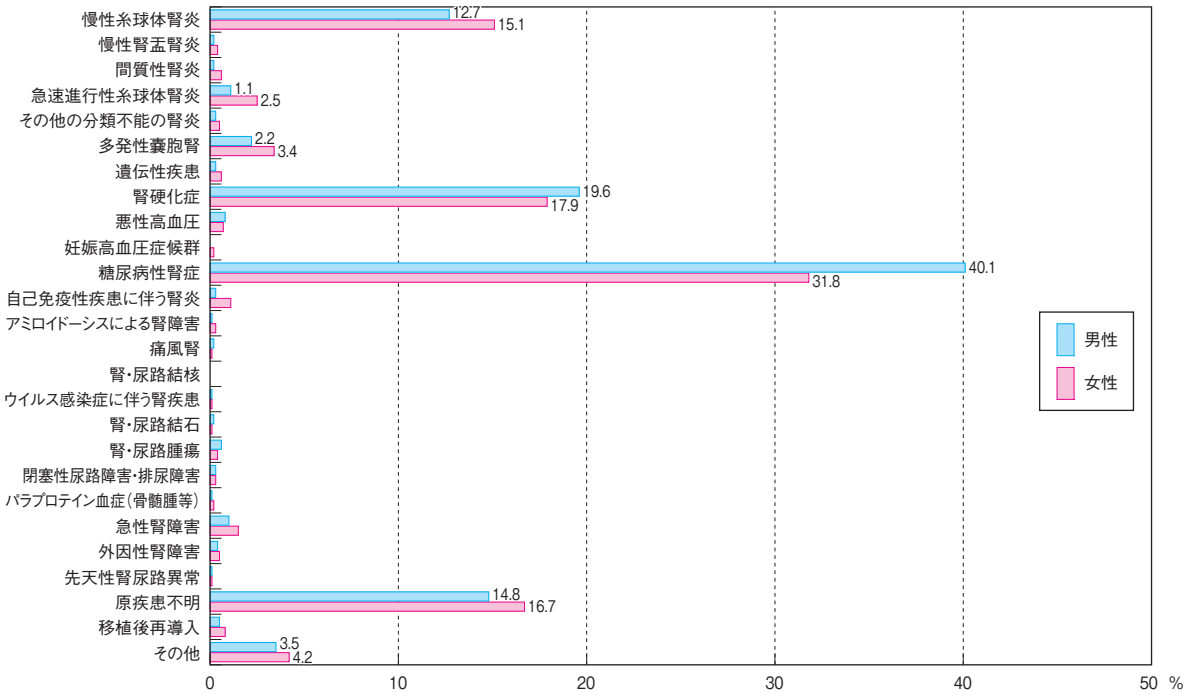


図 16　導入患者　原疾患と性別，2024　（患者調査による集計）

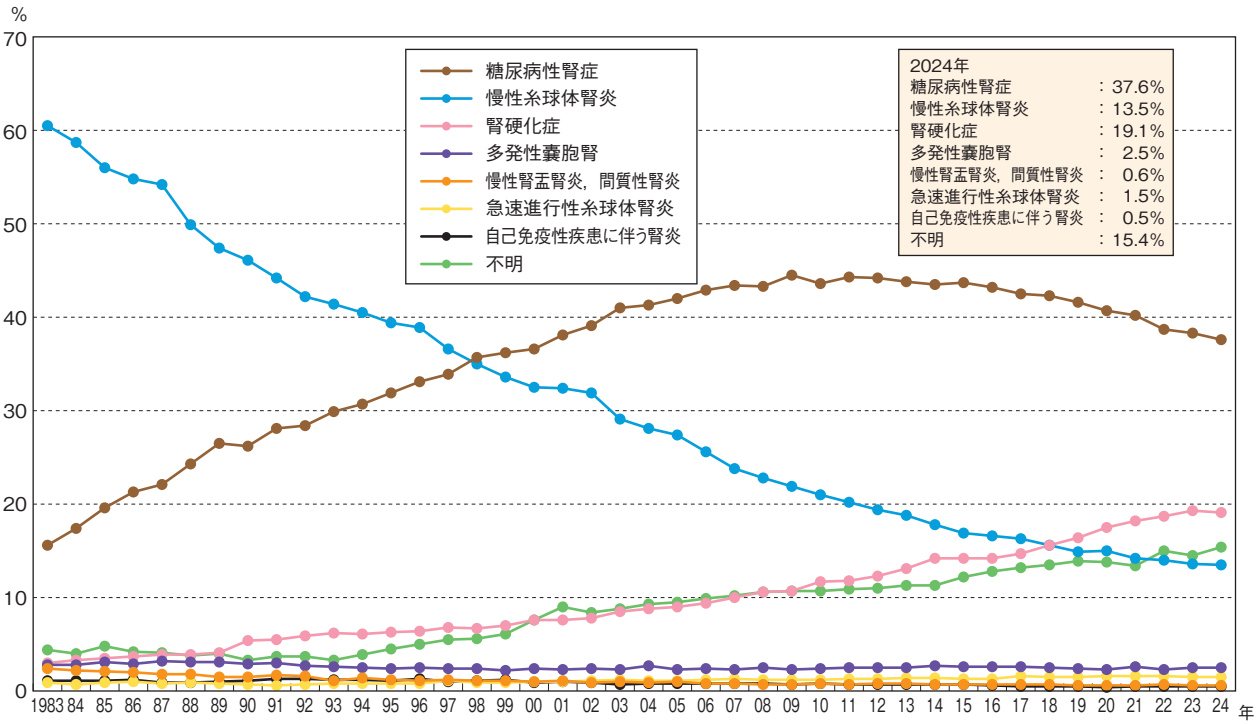


図 17　導入患者　原疾患割合の推移，1983-2024　（患者調査による集計）

2024 年導入患者の原疾患で最も多いのは糖尿病性腎症で 37.6%，次いで腎硬化症の 19.1%，慢性糸球体腎炎の 13.5%であり，2019 年に腎硬化症が慢性糸球体腎炎に代わって第 2 位となって以降も，腎硬化症の持続的な増加が目立つ（**図 16，補足表 16**）．導入患者の原疾患は，1998 年に慢性糸球体腎炎に代わって糖尿病性腎症が原疾患の第 1 位になって以来，一貫して増加していたが，近年は慢性糸球体腎炎と同様に減少傾向が続いている（**図 17，補足表 17**）．

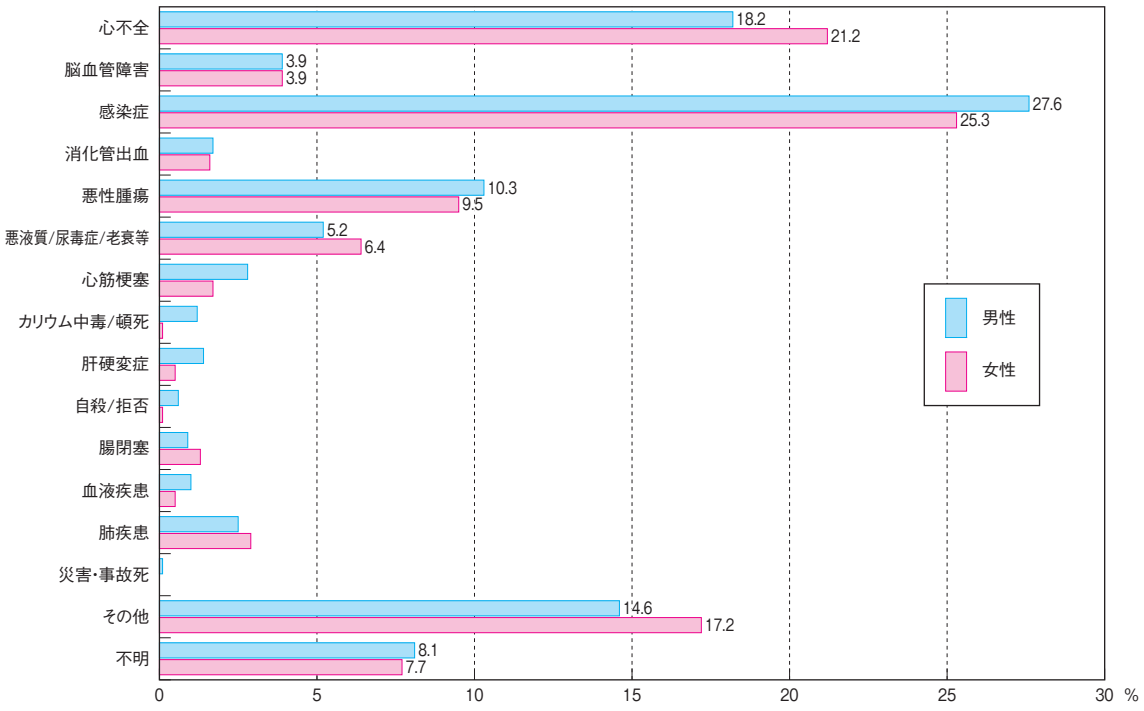


図 18　導入患者　死亡原因と性別，2024　　（患者調査による集計）

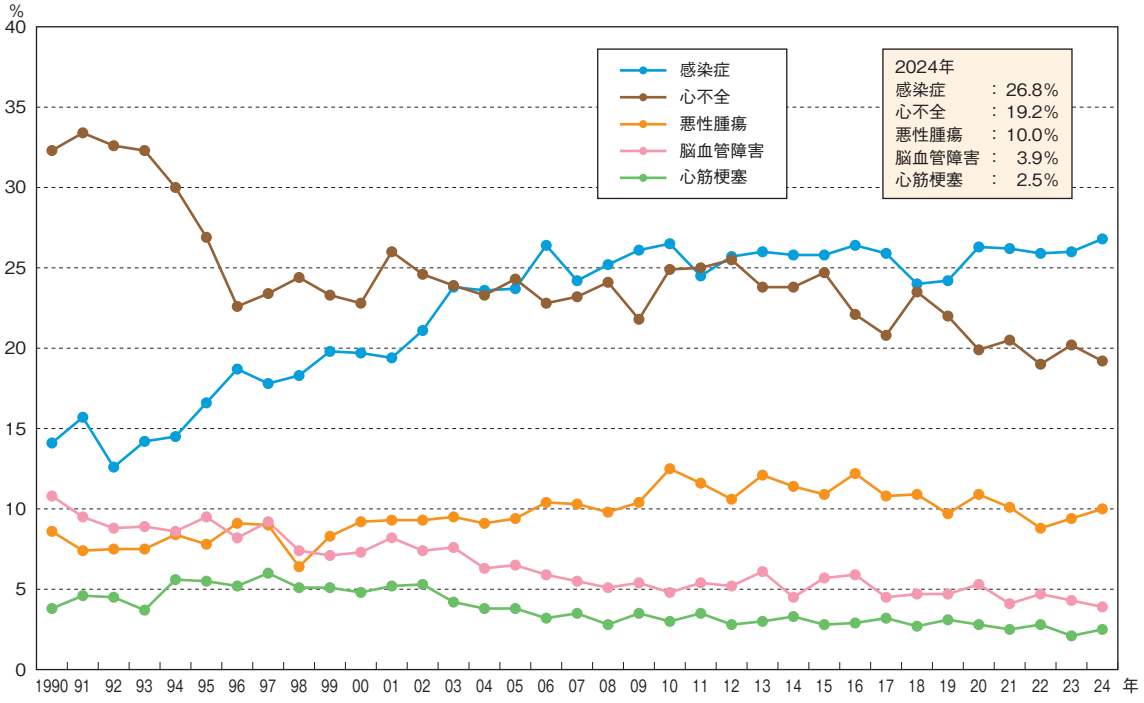


図 19　導入患者　死亡原因割合の推移，1990-2024　　（患者調査による集計）

## 2. 死亡原因

2024 年導入患者の導入年内の死亡原因は，全体では感染症が 26.8%と最も多く，次いで心不全が 19.2%，悪性腫瘍が 10.0%，悪液質/尿毒症/老衰等が 5.6%，脳血管障害が 3.9%であった．心血管死の合計は 25.5%であり減少傾向である（図 18，補足表 18）．透析導入年内の死亡原因の推移をみると，1990 年代は心不全が最も多かったが，感染症が徐々に増加し，2006 年頃から感染症が最も多い死因となった．脳血管障害による死亡は本年初めて 4.0%を割り込んだ（図 19，補足表 19）．